

石 水 営 第 3 1 5 号
平成 28 年 8 月 25 日

石狩市水道事業運営委員会
会長 小笠原 紘一 様

石狩市長 田岡 克介

石狩市水道事業経営戦略の策定について（諮問）

下記案件について、石狩市水道事業運営委員会条例（平成 5 年条例第 10 号）第 2 条の規定に基づき諮問致します。

記

諮問案件 : 石狩市水道事業経営戦略の策定について

石狩市水道事業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、水道料金水準等を含めた収支推計に基づく中長期的な経営の基本計画として、「石狩市水道事業経営戦略」を策定する必要があるため諮問致します。

平成 28 年 12 月 2 日

石狩市長 田 岡 克 介 様

石狩市水道事業運営委員会
会長 小笠原 紘一

石狩市水道事業経営戦略の策定について（答申）

平成 28 年 8 月 25 日付け石水営第 315 号で諮問のあった下記案件について、審議の結果、妥当であると判断する。

記

石狩市水道事業経営戦略の策定について

【附帯意見】

人口減少等を要因とする水需要の減少に伴う料金収入の減少傾向に加え、老朽化施設の更新や修繕等に伴う支出増も見込まれる中、経費節減努力はもとより料金水準の検討など、今後もより一層の経営努力が必要である。

さらに、石狩西部広域水道企業団による第 2 期創設事業や国の繰出基準等、未だ不確定要素を多く抱えている状況にあることから、これらの動向を見極め、柔軟に対応しながら、適宜、経営戦略を見直していく必要があると考える。

【要旨】

今回の「石狩市水道事業経営戦略」は、これまで4年に一度策定してきた「中期経営計画」に代わり、中長期的視点での経営のあり方を見定めるために新たに策定するものである。

市では、「石狩市新水道ビジョン」で掲げた基本理念や約50年先の水道の理想像、それに向かって推進する「持続」「安全」「強靱」の三つの施策を基本としながら、現在の経営分析のもと、今後10年間の収支推計に基づく「石狩市水道事業経営戦略」を策定することにより、将来的に安定した水道事業の継続を図ることとした。

本委員会では、この内容について意見を求められたことから、諮問を受けた8月25日を含め3回にわたり会議を開催し、本経営戦略が「市民のための水道（市民の安心と豊かな生活を次代へ持続させる水道）」を実現するに足る計画であるかについて、提出された資料などを踏まえ慎重に審議を進めてきた。

また、条例に基づき、パブリックコメントが実施されたが、提出された意見がなかったことを確認した。

これらを総合的に検討した結果、市水道事業の中長期的な方向性を示す本経営戦略は、妥当であると判断した。

今後とも、市民に安全で安定した水道サービスを提供し続けるため、本経営戦略の着実な実施とフォローアップに期待する。

石狩市水道事業運営委員会

会 長	小笠原 紘 一	委 員	松 原 愛 子
副会長	山 田 菊 子	委 員	本 吉 俊 一
委 員	藤 懸 健	委 員	石 川 國 弘
委 員	山 本 裕 子	委 員	砂 子 タケ子
委 員	田 守 弘 樹	委 員	大黒谷 充